

第六十五回帝國議會
衆議院

臺灣事業公債法中改正法律案外一件委員會會議錄(速記)第十七回

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)

朝鮮事業公債法中改正法律案(政府提出)
朝鮮私設鐵道補助法中改正法律案(政府提出)
臺灣私設鐵道補助法中改正法律案(政府提出)

會議

昭和九年三月十六日(金曜日)午前十一時開議

議

出席委員左ノ如シ

委員長 山下 谷次君

理事田中 亮一君 理事村松 久義君

葉梨新五郎君 上野 基三君

須之内品吉君

同月十五日委員佐藤正君辭任ニ付其ノ補闕

トシテ牧山耕藏君ヲ議長ニ於テ選定セリ

同月十六日委員藤井啓一君辭任ニ付其ノ補

闕トシテ清水徳太郎君ヲ議長ニ於テ選定セ

リ

三月十五日朝鮮私設鐵道補助法中改正法律

案(政府提出)及臺灣私設鐵道補助法中改正

法律案(政府提出)ノ審査ヲ本委員ニ付託セ

ラレタリ

出席政府委員左ノ如シ

拓務政務次官 堤 康次郎君

拓務省殖産局長 北島謙次郎君

朝鮮總督府政務總監 今井田清徳君

朝鮮總督府財務局長 林 繁藏君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如

シ

朝鮮總督府鐵道局長 吉田 浩君

專賣局參事 花田 政春君

專賣局技師 田中 新吾君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

朝鮮事業公債法中改正法律案(政府提出)

○山下委員長 ソレデハ是ヨリ開會致シマ

ス、通告順ニ依リマシテ質問ヲ許可致シマ

ス——葉梨君

○葉梨委員 幸ヒ本日ハ專賣局ノ鹽ノ方ノ

係リノ方ガ御出席下サイマシタカラシテ、

内地ノ鹽ノ調査ヲ二、三御伺シマシテ、サ

ウシテ後朝鮮ノ鹽田ノ直接關係問題ニ對シ

テ御伺シテ見タイト思ッテ居リマス、先ヅ御

同致シタイコトハ、先般ノ委員會ニ於キマ

シテハ、内地ノマダ正確ナ調査ト云フヤウ

ナモノハ、餘リ分ッテ居ナイト云フヤウナ御

話デモアリマシタケレドモ、果シテドウデ

アルカ、若シ御分リデアリマシタナラバ、

内地ノ鹽田ノ築造ニ要スル經費デアリマス

ガ、是等ノモノハ尤モ古カラノモノモア

リマセウカラ、正確ニト云フコトハ私ハ御

願スル譯デアリマセヌ、大體ニ於テ御分

リニナッテ居ル程度ノ、鹽田ノ築造費ノ狀況

ニ付テ御説明ヲ伺ヘレバ大變結構デアリマ

ス

○田中專賣局技師 私專賣局ノ技術課長ノ

田中ト云フ者デアリマス、拓務省ノ方モ、

朝鮮ノ方モ兼務致シテ居リマス

今ノ御尋ノ内地ノ鹽田ノ築造費ニ付テ御

答申上ゲタイト思ヒマス、内地ノ鹽田ハ古

ク拵ヘタモノデアリマシテ、今カラ三、四百

年モ前カラ拵ヘタ鹽田デ、新シイ鹽田ニ於

キマシテモ隨分相當古イモノデアリマシテ、

新シク拵ヘタ鹽田ハ極メテ少イノデアリマ

ス、又アリマシテモソレハ特殊ナモノデア

リマシテ、殊ニ内地ニ於テヤリマスル砂ヲ

使ッテ製造スル方法ハ成ベク餘リヤリタク

イ、サウ云フモノハ生産費ガ高クナルト云

フ見地カラ鹽田ハ築造シナイト云フヤウナ

大體ノ方針ニシタイト考ヘテ居ル次第デア

リマス、デアリマスカラ築造費ノ如キモ詳

細ノ調査ナドハ致シテ居リマセヌ、併ナガラ

既往ノ事實ニ鑑ミマシテ、先ヅ之ヲ拵ヘル

トスレバ一町歩ノ鹽田ノ築造費ガ一萬五千

圓カラ先ヅ二萬圓位掛ラウト考ヘテ居リマ

ス、主トシテ鹽田ノ築造ニ關シテハ其位ノ

コトヲ御答致シテ置キマス

○葉梨委員 尙ホ内地ニ於キマスル製鹽ノ

費用デゴザイマスガ、百斤ヲ標準トシテデ

結構デゴザイマスガ、ハッキリドノ位出來

ルカ御聽カセ願ヒマス

○田中專賣局技師 内地ノ鹽田ノ生産費ハ

高イト云フコトヲ世間デ大分唱ヘテ居リマ

スガ、内地ノ鹽ハ御承知ノ通り殖民地ノ鹽

竝ニ工業用ノ鹽ニ比較致シマスト色モ白イ

シ、吾々ノ食卓ノ上ニ載セラレ得ル鹽デア

リマスカラ、一面生産費ガ高ク付クノデア

リマス、是ハ需要ノ方カラ申上ゲタノデア

リマスガ、技術ノ方カラ考ヘテ見マシテモ、

内地ノ鹽田ト云フモノハ極メテ製鹽ニハ不

適當ナ所デアリマスノデ、先ヅ内地デスト

鹽田デ、濃イ鹽水ヲ採リマシテ、ソレヲ釜

デ煮テサウシテ鹽ヲ拵エルト云フヤウナコ

トニナッテ居リマスカラ、自然生産費ガ高イ

ノデアリマス、併ナガラ其拵エタ鹽ハ極メ

テ白クテ、サウシテ食用ニ供セラレルト云

フノデアアルカラ、ソレダケノ價值ガアルト

考ヘテ宜カラウト思ヒマス、然ラバ其生産

費ガドノ位掛ルカト云フコトヲ考ヘテ見マス時ニハ、百斤當リガ二圓三四錢掛ラウト考ヘテ居リマス、併ナガラ最モ上手ニ、又工合ガ宜イ鹽田ニ於キマシテハ二圓位デ出來ルノデアリマス、ソレカラ最モ最新式ナ方法ニ依リマシテ、色々機械製鹽デ專ラ實行サレテ居ルノハ「ヴァキーム・システム」デアリマスガ、此方法デアリマスレバ、先ヅ百斤一圓七八十錢デ優ニ生産出來ヨウト考ヘテ居リマス、生産費ニ付キマシテハ無論鹽田、又資力ニ依ッテ違ヒマスケレドモ大體ハ先ヅ此ヤウニ御諒解願ヒマシタナラバ宜カラウト考ヘテ居リマス

○葉梨委員 次ニ御伺ヒ致シマスガ、現在ノ專賣局デオ扱ヒノ鹽ノ賣買價格デゴザイマスガ、食料鹽ト工業用ノ價格ハドレ位デアリマセウカ

○田中專賣局技師 内地ノ元賣捌人ガ小賣人ヘ賣渡シマスル價格ガ食料鹽ハ二等鹽ガ三圓一錢ニナッテ居リマス、是ハ賣渡價格デアリマス、工業鹽ハ買ツタ値デ其儘賣ルコトニナッテ居リマシテ、並等原鹽ガ百斤ニ付キマシテ四圓七十錢デアリマスカラ、百斤デ二圓八十二錢デゴザイマス、大體サウ御覽ニナッテ戴クト宜イト思ヒマス

○葉梨委員 ソレデハ此際技術關係ノ方

デスカラドウカトモ思ヒマスルガ、併シ大體大綱ニ付テハアリマスガ御分リデゴザイマセウカラ伺ッテ置キタイト思フノデスガ、大體專賣局ノ御見込ニナッテ居リマスル所ノ我國ノ鹽ノ需給ノ狀況デゴザイマスガ、不足額ガドレ位ニナッテ、其不足額ハドウ云フ風ニサレテ何處カラノ輸入ニ依ッテ補給サレテ居ルカ、大綱デ宜シウゴザイマスガ、承リタイ

○田中專賣局技師 内地ノ現在ニ於キマスル鹽ノ總需要額ハ二十六億斤、ソレニ對シテ内地ノ生産ガ約十億斤ト御覽ニナッテ戴ケバ結構デス、其他ハ關東州、臺灣、青島、「サマリ」ランド「埃及」、西班牙、其他世界ノ各鹽ノ生産カラ入ッテ來ル譯デアリマス

○葉梨委員 サウシマスルト、内地需給狀況カラ申シマシテモ食料鹽、工業鹽ヲ通ジマシテ約十六億斤ノ不足ニナッテ居ルコトデアリマスルガ、是等ノ十六億斤ノ不足額ヲ補給スルニハ關東州、臺灣、青島、「サマリ」ランド「埃及」、西班牙其他世界各國カラ、大體鹽產地カラ輸入ヲスルト云フヤウナ狀況デアルト云フ御説明デアリマスルガ、關東州、臺灣カラノ移入數量ハ拓務當局カラデモ宜シウゴザイマスガ、青島、「サマリ」ランド「埃及」、西班牙等主ナル地方カラノ

輸入數量ハ大體ドレ位宛輸入ヲ致シテ居ルモノデゴザイマセウカ

○田中專賣局技師 臺灣鹽ガ八千三百三十二萬斤デゴザイマス、ソレカラ關東州鹽ハ一億四千七百七十五萬四千斤、青島鹽ガ一億三千五百七十八萬七千斤、其他二億七千二百十二萬三千斤デゴザイマス、合計ガ六億三千八百三十八萬四千斤ニナリマス、是ガ今ノ御質問ノ點デアラウト思ヒマス

○葉梨委員 此六億三千八百三十八萬四千斤ト云フ此輸入數量ハ工業鹽ト食料鹽ノ別ニシマスと、ドウ云フ狀況ニナリマスカ、成ベクナラバ斤デ表ハシテ戴ケレバ大變結構デス

○田中專賣局技師 是ハ殆ド工業鹽デアリマス、食料鹽ト云フモノハ、極ク僅カノ部分デ、大體是ハ工業鹽其他原鹽ヲ其儘使フヤウナ鹽ノ用途デアアルノデアリマス

○葉梨委員 諒承致シマシタ、サウ致シマスト外地カラ來マスルモノ、中、外國ノモノヲ除イタダケノ所謂我ガ外地關東州、臺灣等ノモノモ是ハ殆ド工業鹽ト、斯様ナコトニ考ヘテ宜シイノデアリマセウカ、或ハ此中デモ食料鹽ニモ相當使フモノガアルノデゴザイマセウカ

○田中專賣局技師 ソレハ今申上ゲタノハ

外鹽ノ輸入ノ中ニ政府ノ購買スル鹽ガアリマシテ、ソレハ醬油ノ原料鹽等ニ多少使ハレテ居リマス、全部工業鹽ト云フ譯デハアリマセス、政府購買鹽ト云フノハ一億九千七百六十四萬四千斤ニナッテ居リマス、是ハ天日製鹽其儘ヲ使ヒ得ルヤウナ用途ニ向ッテ使フノデアリマス

○葉梨委員 食料鹽ノ部ニ計算シテ宜イモノデスカ

○田中專賣局技師 ソレハ廣イ意味ニ於テノ食料鹽ト御覽ニナッタ宜シイ、私共技術者カラ考ヘマスと、一種ノ工業ノ原料鹽ト云フヤウニ考ヘテ居ルノデアリマスケレドモ、此方面ノ鹽ナドノ販賣其他ヲ取扱ハレテ居ル方ハ、多クハ食料鹽ト見テ御出デノヤウデス、併シ内地ノ根本政策ヲ考ヘ、技術上カラ考ヘル場合ニハ之ヲ寧ロ工業鹽ト見テ私共ハ考ヘテ居ル

○葉梨委員 サウ致シマスと、大體ニ於テ常識的ニ言フ所謂食料鹽ノ輸入、外地ヨリ政府購買ノモノノミヲ見マシテモ、一億九千、約二億斤ノモノヲ外地カラ購買シテ居リマスガ、是ハマダ外地ニ於ケル生産品中ノ、詰リ政府購買食料鹽トシテノモノハ増加シ得ル豫想デアリマセウカ、例ヘバ一萬五六千圓カラ一萬圓程度ノ築造費ノ掛ル内

地ノ鹽田ノ整理ト申シマスガ、現在アル鹽田ハ勿論保存スルノデアリマセウガ、是レ以上ノ擴張ト云フコトハ專賣局トシテハ大體ニ於テ不得策ト認メテ居ルヤウニ思ハレルノデアリマスガ、此食料鹽ガモット外地カラ購入シ得ル、例ヘバ臺灣トカ關東州邊カラノ購入ハモット増加シ得ル豫想デアリマセウカ

○田中專賣局技師 今ノ御尋ハ政府購買ノモノヲ將來ニ於テ殖ヤスカ、近ク殖ヤス積リデアルカドウカト云フ御尋ノヤウニ考ヘマスガ、ソレハ將來入口ガ増加シ、廣イ意味ニ於テノ食料鹽ノ増加ガ出テ參リマス時ニハ、自然殖エテ行カウト思ヒマスガ、只今ノ所デハ此前鹽田整理ヲ致シマシタ時ニ、内地ニ於キマシテノ需給ト云フ點ヲ能ク考慮致シマシテ、食料鹽トシテ要ル鹽ダケハ内地デ拵ヘル、サウシテ天日製鹽ヲ、其狀態デ直チニ使ハレ得ル醬油トカ味噌トカ云フモノニ相當數量使ハレルノデアリマスガ、其モノダケハ植民地カラ買入レテ、ソレヲ使フト云フヤウニチヤント基礎ヲ立テテ居リマスノデ、現在使ッテ居リマス數量ハ、時ニ依ッテ多少ノ出入リガアリマスケレドモ、根本ノ方針ト致シマシテハ、之ヲ殖ヤスト云フ必要ハナイカノヤウニ考ヘテ居

リマス、又專賣局ト致シマシテハ、成程内地ノ鹽田ハ一町歩ニ對シテ一萬五千圓乃至二萬圓程ノ築造費ガ掛ッテ居ルノデアリマスケレドモ、其高イ鹽田カラ吾々ガ買入レル所ノ食料鹽ヲ最モ安く、言換ヘレバ植民地ニ於テ出來ル所ノ白鹽ヲ内地ニ持ッテ參リマシタモノヨリハ尙ホ安く拵ヘルト云フコトニ努力致シマシテ、ソレハ先程申上ゲマシタ通りニ現在最モ巧妙ニ現在ノ科學ヲ應用シタ所ノ製鹽方法ニ依リマス、ソレガ百斤ガ一圓七八十錢デ出來ル、斯ウ云フ程度ニナッテ居ル、ソレデ内地ノ鹽田ハ高イガ良イモノガ相當ニ安く出來ル、其意味カラ考ヘテ見マス、内地ノ鹽田ハ最早整理スル必要ガナイ、現在ノ反別ト云フモノハ日本ノ鹽ノ供給ト云フ上ニ於テ最モ必要ナ反別デアルト云フコトガ考ヘラレルノデアリマス

○葉梨委員 私ハ只今迄ノ田中説明員ノ說明ニ依リマシテ、内地ノ鹽田ノ整理ハ最早必要ハナイ、寧ロ之ヲ今日ノ生産費ノ狀況カラ見テ此儘維持シテ行キタイ、斯ウ云フ御意嚮デアリマスガ、サウ致シマシテモ不足額ハ矢張り依然トシテ十六億斤、人口ノ増加、若クハ工業ノ殷盛ニ伴ッテ是レ以上ノ輸入額ヲ見ナケレバナラス、斯様ナ狀況ニ

アルノデアリマス、是ハ鹽ヲ原料トスル所ノ工業ノ將來ヲ考ヘテ見マス、甚ダ心細イ次第デアリマシテ、其十六億斤ノ不足ヲ如何ニシテ補フカ、一朝非常時ノ際等ニ於キマシテハ、少クモ支那ノ鹽ハ兎モ角トシマシテモ、其他ノ諸外國ノ鹽ノ輸入ト云フコトハ相當困難ナコトガ起リヤシナイカ、サウ云フ際ニハドウスルカ、斯ウ云フ點ニ非常ニ懸念ヲ有ツノデアリマスガ、專賣局ニ於キマシテハ一般ノ外地、所謂鹽田ノ築造費モ安く、生産費モ或ル程度マデ安イモノヲ造リ得ル所ノ、我ガ帝國ノ領土デアル所ノ外地ニ於ケル鹽田ノ擴張ヲシテ、サウシテ自給自足ヲスルト云フ必要ヲ當然認メテ居ラル、コト、思フノデアリマスガ、之ニ對シマシテ專賣局當局ハ臺灣、朝鮮、關東州等ニ對シテ、如何様ニ今マデ御協議爲サッテ居ルモノデアるか、定メシハ相當ノ確乎タル方策ヲ御立テニナッテ居ラレルコト、思フノデアリマスガ、ソレ等ニ付テ伺ヒタイ

○田中專賣局技師 今ノ御質問ハ極メテ大事ナ御質問デアリマシテ、私共ハ鹽ノ供給ト云フ立場カラ其問題ニ付キマシテ日夜考ヘテ居ル次第デアリマス、先ヅ買入レル所ノ食料鹽ハ内地ニ殘ッテ居ル所ノ鹽田カラ

十分供給出來ル、サウシテ人口ノ増加ニ對シテハ、改良ニ依ッテ生産ヲ増加シテ行ッテソレニ應ズルヤウニシヨウ、所デ御承知ノ通りニ工業ノ原料鹽ハ非常ニ急激ニ増加シテ參ッタノデアリマスガ、是ハドウ云フ方面カラ供給スルカト云フコトニ付テハ、只今非常ニ苦心ヲ致シテ居ルノデアリマス、非常ニ心配ヲ致シテ居ルノデアリマス、併ナガラ最モ中心ヲ關東州ニ置キマシテ、關東州ヲ出來ルダケ能力ヲ發揮セシメ、サウシテ更ニ進ンデハ滿洲ニ於ケル所ノ鹽田ヲ能ク調査致シマシテ、相當工業鹽ノ原料トスルニ足ルダケノ鹽ガ作ラレルト云フコトデアリマシタレバ、此處デ又鹽田ヲ築造致シマシテ、ソレニ依ッテ鹽ノ供給ヲスル、現在朝鮮ニ於キマシテハ天日製鹽ノ鹽田ヲ築造致シテ居ルノデアリマスケレドモ、朝鮮ノ鹽カ需要ガ五億四千萬斤程要ッタと思フノデアリマスガ、ソレニ對シテ供給ガ三億斤デアッタと思フノデアリマス、アトノ二億斤餘ノ鹽ハ不足ヲ致シテ居ルノデアリマス、ソレモヤハリ關東州トカ、或ハ臺灣トカ、或ハ青島ト云フ所カラ供給致シテ居リマスノデ、朝鮮ニ於キマシテハ成ベク鹽田ヲ速ク築造シテ、サウシテ自給自足スルヤウニシタイ、サウスレバヤハリ又ソレダケ鹽ガ

工業ノ原料トシテ供給スルコトガ出來ルノ
デアル、其意味ヲ以チマシテモ、私ハ昨年
朝鮮ニ參リマシテ親シク現狀ヲ見タノデア
リマス、從來鹽ノ供給ト云フ點カラ見マシ
テ、朝鮮ノ天日製鹽ナドハ非常ニ高イ、ア
ソコノ鹽ハ非常ニ高イトシテ、殊ニ工業鹽
ノ原料ナドニハ到底ナリ兼ネルカノ如ク考
ヘラレテ居ッタノデアリマス、併ナガラ朝鮮
ニ於キマシテハ、朝鮮當局ノ非常ニ熱心ナ
ル努力ニ依リマシテ、生産費ガ非常ニ低減
シタノデアリマス、ソレデ私ハ廣梁灣附近
ニ於キマシテ、鹽田ヲ築造致シテ、其鹽ヲ
鎮南浦ノ港ニ出シテ、サウシテ其鹽ヲ此内
地ノ工業鹽ニ又出スコトガ——近キ將來ト
ハ申シ兼ネルカモ知レマセヌケレドモ、現
在ノ情勢カラ見ルト、サウ云フコトモ或ハ
出來ルノデヤナイカ、工業鹽ノ供給ト云フ
點ニ付テモ非常ニ喜ンダノデアリマス、又
臺灣ニ於キマシテハ、從來臺灣ノ鹽ハ非常
ニ高イト斯ウ思ハレテ居ルノデアリマス、
併ナガラ一昨年私ハ臺灣ニ參リマシテ、親
シク彼ノ地ノ狀況ヲ見マシテ、サウシテ從
來ノ臺灣ノ鹽田ノ築造ト云フモノハ、蓋シ
結晶池ダケヲ中心ニシテ鹽田ヲ築造シタモ
ノデアッテ、サウシテ其六割、七割以上ヲ占
メテ居ル蒸發池ノ如キハ餘リ注意シテ居ラ

ナイ、デアルカラ、割合ニ生産力ガ少クテ
——無論數字ノ上カラ見マスト、臺灣ハ生
産力ガ多イノデアリマスケレドモ、御承知
ノ通り臺灣ハ雨ハアリマスケレドモ、熱線
ガ強クテ年中製鹽ガ出來ル、關東州ノヤウ
ニ、或ハ朝鮮ノヤウニ冬ハ止メナケレバナラ
ヌト云フ點ガナイ、サウ云フ點カラ見マシ
テ、此蒸發池ヲ改良スレバ鹽ノ生産モ増産
シ、サウシテ結晶池デ以テ天日製鹽ヲ作ッ
タナラバモット澤山ノ鹽ガ出來ル、サウシテ
自然生産費モ安クナル、斯様ニ致シマスレ
バ臺灣ナドデモ相當數量ノ工業鹽ガ出來ル
ヤウニナル、サウ云フコトニ考ヘ及ビマス
時ニハ、現在デハ成程工業鹽ト云フモノハ
心配デアリマスケレドモ、私ハ思フニ我帝
國ノ工業鹽ノ原料ト云フモノハ左程心配ガ
ナイト云フコトヲ誓ッテ爰ニ斷言スルコト
ガ出來ルコトヲ非常ニ光榮ト致ス次第デア
リマス
ソレ迄ハ如何ニスルカト云ヒマスレバ、
一度歐米各地ノ生産地ヘ行ッテ見マスト云
フト、外國ノ鹽ノ生産ト云フモノハ内地ノ
ヤウニ苦マナイ、自然ニ鹽ガ出來ル、サウ
云フヤウナ所デハ鹽ヲ買ッテヤリサヘスレ
バ自由ニ何ボデモ鹽ヲ拵ヘルヤウナ狀態ニ
アルノデアリマス、デアリマスカラシテ我

ガ帝國ニ於テ、帝國ノ勢力範圍内ニ於テ工
業鹽ノ生産ガ十分ニ研究ガ出來テ、十分ニ
帝國ニ工業鹽ノ原料ヲ供給シ得ル時機ガ來
ル迄ハ心配ナク外國カラ鹽ヲ仰イデ居テ宜
カラウ、一日モ早く植民地及ビ滿洲其他デ
成ベク早く、如何様ニスレバ此鹽ヲ安ク工
業鹽ヲ供給スルカト云フコトヲ研究スルコ
トガ非常ニ急グ問題デアリマス、是ガ出來
ル迄ハ先ヅ當分外國カラサウ心配ナク鹽ノ
供給ヲ仰グ、私ハ斯様ニ——私一人ノ考デ
アルト云フ譯デモアリマセヌガ、大體私ハ
サウ云フ風ニ考ヘテ居リマスノデ、帝國ノ
工業鹽ノ供給ト云フコトニ付テモサウ心配
ガナイト固ク信ジテ居ルノデアリマス
○葉梨委員 率直ニ技術者トシテノ御考ヲ
御話下サイマシテ大變有難ウゴザイマス、
只今ノ御説明ニ依リマスト、此不足額ヲ補
フノニハ主トシテ關東州、滿洲國及ビ臺灣、
此三者ノ増鹽計畫ヲ立テル必要ガアル、此
増鹽計畫ハ十分立チ得ル見込ダ、ソレニ依
テ工業鹽ノ不足ヲ補フコトガ十分出來ルデ
アラウト云フ技術者ノ立場カラノ見込、殊
ニ田中課長ノ御説明デアリマスガ、ドレ位
臺灣或ハ關東州等ニ於テ増産ノ見込ガ立ツ
ノデアリマセウカ、是ハ何レ鹽田適地ノ調
査等ノ結果ダラウト思フノデアリマスガ、

何億斤位ヅ、各關東州、臺灣等ニ於テハ増
産シ得ルモノデアルカ、豫想ハドウ云フ風
ナ豫想ニナッテ居リマセウカ、其見込ニ付テ
伺ヒタイト思ヒマス
○田中重寶局技師 只今私ノ申上デマシタ
コトハ、帝國ノ工業鹽ノ供給ト云フコトニ付
テ、私ノ肚ノ底ヲ申上デタノデアリマスガ、
隨テ朝鮮ニ於キマシテモ臺灣ニ於キマシテ
モ、工業鹽ハ將來帝國ノ内地ノ工業鹽ノ原
料ヲ供給シ得ルト、斯ウ云フコトヲ申上デ
タノデアリマスガ、ソレハ大分先ノコトデア
リマスガ、今ノ所何處デドノ位鹽ガ供給
シ得ルカト云フ問題ニ對シマシテハ、關東
州ニ於キマシテハ、今七千二百町歩ノ鹽田
ガアルノデアリマス、ソレカラ其外ニ約一萬
町歩ノ鹽田ノ候補地ガアルノデアリマス、
サウ致シマス、約一萬七千町歩ノ鹽田ガ
關東州ニ出來ル譯デアリマス、一町歩カラ
十萬斤取レルト致シマス、約十七萬萬斤
ノ鹽ガ生産出來ルノデアリマス、ソレカラ
滿洲ニ於キマシテ、今鹽田ガ八千町歩トモ
申シ、或ハ一萬町歩トモ申シ、七千町歩ト
モ申スノデアリマスガ、八千町歩位ト見マ
シテモ、其生産額ガ今ハ五億斤位デスガ、
此處デモ現在ノ鹽田ヲ修理シテ、サウシテ
生産能力ヲ發揮スルト云フコトニナレバ、

相當數量が増加シ得ルノデアリマス、ソレカラ朝鮮ニ於キマシテモ、最初ノ朝鮮總督府ニ於キマシテノ計畫通りニ、二千二百町歩ノ鹽田ヲ築造致ストスルナラバ、是亦此方面カラ二億餘萬斤ノ鹽ガ上テ來ルノデアリマス、サウ云フヤウナ所ダケト致シマシテモ、相當數量ノ工業鹽ガ供給ガ出來ルノデアリマス、ソレデ關東州デ今一萬町歩ノ鹽田候補地ノ中デ、現ニ二千六百町歩ト云フモノハ鹽田ノ開設ニ只今從事シツツアルノデアリマス

○葉梨委員

モウ一ツ伺ッテ置キタイノデアリマスガ、專賣局ノ御見込ニ依リマス、滿洲國ノ御話ハ只今アリマシタガ、現在五億斤見當ノ生産ヲシテ居ッテ、是ガ鹽田ヲ修築、整備スレバ、尙ホ増産スルデアラウ、其増産量ガ内地ニ輸入シ得ルコトニナリハシナイカ、斯ウ云フ御説明デアリマシタガ、現在ハ青島方面ガ主デアラウト思ヒマス、專賣局ノ御見込ニナリマス所ノ、滿洲及ビ支那各地ヨリノ鹽ノ供給ヲドレ位期待シ得ル御見込ヲ持ッテ居リマスルカ

○田中專賣局技師

滿洲國ニ於キマスル鹽ヲ内地ニ輸入スルト云フコトニ付キマシテハ、滿洲國政府ト、專賣當局トノ間ニ協定ガ出來マシテ、一億斤乃至二億斤ヲ年々工業

用原料トシテ輸入スルト云フコトニ協定ガ成ッテ居ルノデアリマス、現ニ本年ハ約一億五千萬斤位入レル見込ニナッテ居ルノデアリマス、ソレカラ此先ドノ位入レルカト云フ問題ニ對シマシテハ、是ハ私ガ茲ニ申上ゲルコトヲ差控ヘタイト思フノデアリマス、ソレハア、云フ所デスカラ、マダ能ク分ッテ居リマセヌシ、ソレデ私ガ好イ加減ナコトヲ云ッテモ甚ダ恐縮デスカラ、ソレハマア今二億斤ニナッテ居ルモノガ三億斤ニナリマスカ、其位ノ所デスネ

○葉梨委員

滿洲國ノ方ハ分リマシタガ、一般支那方面カラノ、所謂青島等ヲ主トシタル支那方面ノ供給地カラノ大體ノ推定、是位マデハ輸入シ得ルガラウト言フヤウナ推定額ヲ一ツ承リタイ

○田中專賣局技師

青島ニ於キマシテハ、先ヅ現在ノ生産力ガ、是モ區々デアリマシタガ、先ヅ四億七千五百萬斤位ノ生産見込デアルノデアリマシテ、之ノ大部分ハ内地ヘ輸入スレバ出來ヌコトハナイノデアリマス、ソレデ先ヅ青島カラデモ全部取レバ五億斤モ取レルヤウニナラウト思フノデアリマス、ソレカラ支那民國ノ鹽ノ狀況ハドウカト云フト、アソコハ鹽ハ幾ラデモ直隸邊リデドン／＼出來ルノデアリマス、是ハ支

那ニ足ラ御入レニナッタ方ハ御承知ダト思ヒマスガ、「パンクートカ」「タンクートカ」、アノ邊ニ大キナ鹽田ガザラニ竝ンデ居ルノデス、アソコノ鹽ヲ若シ内地ヘ輸入スルト云フコトガ出來レバ、是又内地ノ工業鹽ノ原料トシテハ好イ供給地デアルノデアリマス、所ガ御承知ノ通り支那民國ハ鹽ノ輸出ト云フコトヲ嚴禁シテ居ルノデアリマス、デアルカラ日本ノ方デアチラデ色々事業ヲヤッテ居ラレル方ガ是マデニ屢、アソコノ鹽ヲ内地ヘ入レルト云フコトニ御苦心ヲナサツタノデアリマスケレドモ、何時モ是ガ失敗ニ終ルノデス、是ハ、支那民國ハ昔カラ鹽ハ外ヘ出サナイ、斯ウ云フ風ナコトノ主義ニナッテ居リマスノデ、若シ文化ガ進歩スルニ從テ支那民國ガ進歩シ、支那民國ノ思想ガ進歩致シマシテ、サウシテ出來ル生産物ヲ外ニ出サウト、斯ウ云フヤウナ風ノ今日ノ社會一般ノ普通ノ考ノヤウニナリマシタ曉ニハ、相當數量モ亦帝國ニ入レルコトガ可能デアラウト考ヘルノデアリマス

○葉梨委員

尙ホ專賣局當事者ノ方達ニ伺ッテ置キタイノデアリマスガ、技術方面カラ御覽ニナッタ御答辯デ結構デスガ、現在ノ專賣局ガ鹽ヲ管理シテ居ラレル見地カラ行

キマシテ、ドウ云フ風ニシタラバ宜シイカト云フヤウナ、何カ外地方面ニ對スル鹽ヲ、例ヘバ朝鮮ハ朝鮮ノ專賣局デヤルトカ、關東州ハ大體ニ於テ民業デアルトカ、臺灣方面ニ於テハドウダト云フヤウナコトニナッテ居リマスガ、之ニ對シテ何カ統制ヲ加ヘレバ宜シイデヤナイカト云フヤウニ專賣局當局ハ御考ニナッテ居リマセウカ、是デハ不便ダト云フ點ガゴザイマセウカ

○田中專賣局技師

只今ノ御質問ハ、或ハ私ガ御答スルノハ外レテ居ルカトモ存ジマスガ、私ハ多年各地ノ鹽業ニ携ッテ居リマスル關係カラ、御答致シタイト思フノデアリマスガ、内地デハ食用鹽ヲ拵ヘル、是ハ植民地カラチットモ御世話ニナラナイデモ十分出來ル、又朝鮮ニ於テハ一日モ早く自給自足ラスル、ソレカラ臺灣デハ現在ノ鹽田ヲ先ヅ擴張セズニ此儘行ク、詰リ島内ノ消費ト、ソレカラ内地ト違フ所ノ政府購買鹽、醬油ノ原料ニナル鹽ヲ拵ル、斯ウ言ッタヤウナコトデ大體ヤッテ行ク、ソレカラ關東州デハ極力工業鹽ヲ生産スル、斯ウ言ッタ大體方針デ進ンデ居リマス、ソレデ先ヅ宜カラウト思フノデアリマス、ソレカラ統制其他ノ點ニ付テドウデアルカ、今不便ニ感ジテ居ル所ハアルカ、ナイカト云フヤウナ御

質問ノヤウニ伺ヒマシタガ、現在ハ内地ニ專賣局ガアリ、朝鮮ニ於テモ專賣局ガ統制ヲシテオイデニナリマス、ソレカラ關東州ニ於テハ、關東廳デ能クソレノ統制ヲ取ッテ

餘ハ拓務當局及ビ朝鮮總督府當局ニ御伺シテ置キタイト思ヒマスガ、只今内地專賣局當事者ノ御説明ヲ伺ヒマス、内地ノ需要量ノ不足ガ約十六億斤アリマス、是等ノ配給狀況カラ行キマス、ドウシテモ配給ノ將來ヲ考ヘテ行キマス、外地ノ鹽業ヲ盛

當局ノ御意嚮カラ伺ッテ置キタイト思ヒマス

用ニスル爲ニ、一日モ早く此鹽田ノ開發ヲシタイ

オイデニナルシ、臺灣ニ於テハ專賣法ヲ施行シテオイデニナルノデアリマス、出來ルナラバ之ヲ一ツニシテ統制ヲスルト云フコトガ、最モ理想的デアラウトハ考ヘルノデアリマスケレドモ、色々ソコニハ事情モアリマスガ、私ノ見マシタ所デハ、現在ニ於テハ鹽田ヲ築造シヨウ、斯ウ云フ場合ニハ、先

關スル統制ト云フコトハ、最モ必要ナ緊急缺クベカラザル業務トナッテ來タノデアリマス、之ニ對シテ、拓務當局ハ各外地ニ向ッテドウ云フ方針ヲ以テ臨ンデ居ラレカ、或ハ外地ニ對スル鹽業ノ統制ヲ、具體的ニ方法ヲ決メテ御ヤリニナッテ居ルカドウカ、只今ノ内地專賣局ノ御説明ニ依ルト、何ダカ關東州ハ關東州、臺灣ハ臺灣ト云フヤウニ、

○堤政府委員 只今葉梨委員ノ御述ニナリマシタ通り、日本ハ内地ニ於テ鹽ガ年々十五六億萬斤ノ不足ヲ生ズル、是ノ將來ノ配給ノ途ハ、朝鮮、滿洲ニ俟タナケレバナラスト思フノデアリマス、サウシテ見ルト、是ハ將來相互ニ十分ナル連絡ヲ取ラナケレバナラスト存ジマシテ、拓務省デハ昭和六年ノ九月頃デアリマシタカ、鹽ノ問題ヲ取扱ッテ居リマス所謂鹽務主任官會議ト云フヤウナモノヲ開キマシテ色々協議シ、食料

〔委員長退席、田中委員長代理著席〕内地ノ需給狀況ニ應ズルガ爲ニハ、關東州、滿洲國此兩者ニ對スル對策ヲ專賣局トシテ考ヘテ行ク、又堤サンノ先程ノ御話ノ中ニハ、關東州ト云フコトハ拔ケテ居ッタイウデアリマスガ、朝鮮ハ寧ロ自給自足、關東州ト滿洲國ト云フモノハ、工業鹽ノ供給地トシテ、絕對考ヘナケレバナラスト、斯様ナコトガ先程ノ專賣局當事者ノ御説明ニ依ッテ明瞭ニナッタノデアリマス、サウ致シマスレバ取敢ズ外地關係ノ拓務省トシマシテハ、此關東州及ビ滿洲國トノ間ノ協定ヲシ、關東州ニ於ケル鹽田ノ開發ヲ一日モ速ニシナケレバナラスト、殊ニ現在ノ關東州ノ段別ガ七千二百町步デアリ、將來ノ鹽田ノ見込地ガ約一萬町步アル、是ノ開發ト云フモノガ非常ニ重要ナモノデアル、之ヲドウ云フ方策ヲ以テ開發シテ行クカ、是ガ焦眉ノ急ニ迫ラレタル所ノ事業デアルト思フノデアリマス、是ハ現在ノ關東州デヤッテ居リマス所ノ所謂輸出鹽ニ對シマスル所ノ獎勵金ノ下附トカ云フヤウナ程度デナク、モット進ンデ何等カ政府ニ於テハ之ニ對シテ事業開發ノ方策ヲ立テラレル必要ガアルデハナイカ、斯

ソレノ仕事ガ實行サレテ居ルノデアリマス、極メテ圓滿ニ、好都合ニ行ッテ居ルノデアリマシテ、此點ニ於テハ私ノ觀ル所ニ依リマス、今非常ニ都合好ク行ッテ居ルト云フコトヲ申上ガテ、サウシテ今之ヲ斯ウ改正シナケレバイケナイ、改正シタ方ガ宜カラウト云フヤウナコトヲマダ考ヘテ居リマセズ、又其必要ヲ認メテ居ナイト云フコトヲ、茲ニ申上ゲタイト思ヒマス

○葉梨委員 大體内地專賣當局カラ御伺スル點ハ今ノ程度デ宜シウゴザイマスカラ、

○葉梨委員 モウ少シ詳細ナル御答辯ヲ伺ヒタイト思ッタノデアリマスガ、先程ノ專賣局當事者ノ御説明ニ依リマス、朝鮮ハ一日モ速ニ自給自足ヲヤル、ソレカラ内地ノ約二億斤近クノ食料鹽ノ配給ハ臺灣ニ依ッテスルヤウニシタイ、關東州鹽ハ之ヲ工業

策ヲ立テラレル必要ガアルデハナイカ、斯

様ニ思ハレルノデアリマスガ、ソレニ付テモウ少シ具體的ノ一ツ御説明ヲ伺ッテ置キタイ

○堤政府委員

詳シク申上ゲマス只今葉梨君ノ御述ベニナリマシタ通り、朝鮮モ今尙ホ二億斤不足シテ居ルノデアリマスカラ、朝鮮ニモ増産ヲスルコトニ致シマシテ、先ヅ自給自足ヲ圖ル、是ハ當然ナ事デアリマス、併シ私ハ朝鮮ハ將來非常ニ有望デアリマスカラ、遣リ方ニ依テハ自給自足以上ニ出來ルダラウト云フズット先ヲ見越シテ今答辯ヲ申上ゲタノデアリマス、積極的ノ考ハ有ッテ居ルノデ、飛越エテ結論ヲ申シタノデアリマスガ、之ヲ御説ノ如ク差當テ自給自足ヲヤルコトハ是ハ當然ノコトデアリマス、ソレカラ滿洲ト申シマシテモ、精密ニ申シマスレバ、只今葉梨委員ノ御話ニナリマシタ通り、關東州ト滿洲デアリマス、ソコデ關東州、滿洲ノ方面ガ是ハ私ハ將來鹽ノ產地トシテ非常ニ有望ダト思フノデアリマ

スガ、私ハ専門ノ技術的ノ事ハ能ク知りマセヌガ、彼處ヘ觀察ニ昨年ノ冬行キマシテ、大體ノ狀況ヲ一通リ視テ參リマシタガ、内地ト異リ其根本ニ於テ天然ノ條件ニ恵マレテ居リマス、氣候ト云ヒ、又鹽田ノ工合ト云ヒ、勞銀ト云ヒ、將來ハ非常ニ有望ダラ

ウト思ヒマス、ソコデ拓務當局ト致シマシテモ、之ヲ具體的ニヤラセルヤウニシタイト思ヒマシテ、今公表致シマスコトハ少シマダ早計ダト存ジマスガ、東拓、滿鐵ナドノ方面ニモソレノ其意嚮ヲ通ジマシテ、相當計畫ヲ進メテ居リマス、遠カラズ御期待ニ副フヤウナ相當ナ案ガ出テ來ルダラウト思ヒマス

○葉梨委員

尙ホ大マカナ問題デ一ツ伺ッ

テ置キタイノデアリマスガ、先程來ノ質問應答ニ依リマシテ、私共ハ我が外地、殊ニ臺灣、朝鮮、關東州ト云フモノガ鹽業ノ統制上、自給自足ヲ圖ル上カラ言ッテ、非常ニ重要ナル地方ニナッテ居ル、サウシマスレバ之ニ對シテ一貫シタル各外地ヲ通ジテ何等カノ統制法ヲ講ジテ置ク必要ガアリハセヌカト思フノデアリマスケレドモ、是ハ例ヘバ内地ノ專賣法ヲ向フマデ布クトカ、或ハ内地ノ專賣法ヲ施行セズトモ、外地ダケノ統制、鹽業ニ關スル所ノ何等カノ對案ヲ速ニ樹立シテ之ヲ施行スル必要ガアルデヤナイカト思ヒマスガ、矢張現在通り各外地朝鮮ハ朝鮮、臺灣ハ臺灣、關東州ハ關東州ト云フヤウニ獨立シタ考ノ下ニヤラシテ置イタ方ガ宜イデアリマセウカ、或ハ之ヲ統制シタ、一貫シタル所ノ方針ニ依リ統一アル

所ノ統制下ニ置クト云フ必要ヲ吾々ハ認メルノデアリマスケレドモ、サウ云フ點ニ付テハドウ御考ニナッテ居リマスカ、又具體的ニ何等カノ對策ヲ立テ、居ラレルカ、是等ニ付テ伺ッテ置キタイ

○堤政府委員

事業ノ増産計畫ニハ統制ハ固ヨリ必要デアリマス、併シ統制ト云フ字

ハ統ベ制スル、兎角生産過剩ニナリ亂雜ニナルヤウナ時ニ、此字ハ多ク用ヒラレルヤウデアリマスガ、統制ト云フ點ヨリモ寧ロ増産、今十五億斤不足シテ居ルノデアリカラ、如何ニシテ之ヲ増産スルカト云フコトニ重キヲ置カナクテハナルマイ、結局徹底シタ統制ト云ヒマス、朝鮮モ關東州モ滿洲モ皆ヲ專賣ニスルト云フコトガ徹底シタ統制ニナルノデアリマセウガ、今サウ云フコトハ考ヘナイ、如何ニシテ増産セシムベキカト云フコトニ主トシテ今頭ヲ置イテ居リマス、遠イ將來ニ於テハ考ヘルベキ問題デアルカモ知レマセヌケレドモ、差當テノ所ハ増産ヲサセタイ、斯ウ云フコトニ主タル要點ヲ置イテ居ルノデアリマス

○葉梨委員

是ハ實ハ堤次官ニ御伺シタノ

ハ御無理デアッタカト思ヒマス、私ノ申上ゲル統制ト云フコトハ勿論増産ヲ圖ル意味カラノ統制デアリマス、ト申シマスノハ、外地

カラノ輸入ガ二億七千餘萬斤ニ達シテ居ル、

此外地カラ輸入スル所ノ鹽ニ對シテ對抗セネバナラス、即チ價格上、生産費カラ對抗ヲセナケレバナラスノデアリマス、單ニ是ノ増産ヲ圖ルト云フノデ、無茶苦茶ニ造ルト云フヤウナ——無茶苦茶デアリマス

マイガ、澤山造ルト云フダケデハ價格ノ上ニ於テ實ハ對抗出來ナイモノデアラウト思フ、是ハ實ハ殖産局長ニ伺ッタ方ガ宜カッタノデ、細カイ點デスカラ次官ニ伺ッタノハ私ノ間違カモ知レマセヌガ、澤山造ラセル、澤山造ラセルガ、價格ニ於テ外鹽トノ競争ガ出來ナケレバ何ニモナラス、寧ロ造ル爲ニ製鹽業者ガ皆倒産スルト云フヤウナ狀態ニナッテハ何ニモナラスノデアリマス、是ハ現

ニ關東州ニ於キマシテモ屢、サウ云フ苦イ經驗ヲ嘗メテ居ルノデアリマシテ、ソレ等ヲ統制スルト云フコトニ對シテハ、其統制ト云フ意味ハモット生産費ヲ安ク爲シ得ルヤウナ大企業組織ニデモシタラドウカ、ソレデナケレバ外鹽トノ價格上ノ競争ハ出來ナイノデアリマス、サウ云フ意味ニ於テ私ハ伺ッテ居ルノデアリマスガ、北島局長カラソレニ付テ一御答辯ヲ伺ッテ置キタイト思ヒマス

○堤政府委員 結局私ノ申上ゲマスコト、

葉梨委員ノ御趣旨ハ一致シテ居ルノデアリマス、唯言葉ノ使ヒ方ガ違フト云フダケデアリマス、増産ヲ致シマスノニハ、固ヨリ經濟的ノ生産品デアリマスカラ、生産費ノ低廉ト云フコトガ根本ノ要點デアル、如何ニスレバ生産費ヲ低廉ニスルコトガ出來ルカト云フコトハ増産ノ根本ノ條件ニナルノデアリマスカラ、葉梨委員ノ御趣旨ト少シモ違ヒマセヌ、唯私ハ物ヲ言フコトガ下手デアリマスカラ適當ナル用語ヲ使ハナカッタノデアリマシテ、根本ノ趣旨ハ全然同様ト御諒承願ヒタイノデアリマス

○北島政府委員 實ハ只今迄外ニ居リマシタカラ前ノ關係ヲ能ク承知シマセヌカラ、或ハ重複スルヤウナコトヲ申上ゲルカモ知レマセヌ、御諒承ヲ願ヒマス、内地、朝鮮、臺灣、關東州全部ヲ通ジテ鹽ノ統制ヲ圖ツタ方ガ宜イデハナイカ、少クトモ朝鮮、臺灣、關東州或ハ滿洲迄ノ範圍内ニ於テ鹽ノ統制ヲスル必要ガアルト思フガドウカト云フ御質問ダッタと思ヒマスガ

〔田中委員長代理退席、委員長著席〕
之ニ付キマシテハ從來拓務省ト致シマシテハ鹽ニ付テハ現在ハ兎モ角ト致シマシテ、過去ニ於テ非常ナ苦イ經驗ヲ嘗メテ居リマシテ、葉梨サンモ恐ラク御承知ト思ヒ

マスガ、ツイ三四年、或ハ四五年前マデハ、臺灣ニ致シマシテモ關東州ニ致シマシテモ、寧ロ鹽ガ餘リ過ギテ非常ニ困ッテ居ッタヤウナ關係ガアルノデアリマス、ソレデ現在デコソ鹽ガ足りナイカラ大ニ増産シロト云フ工合ニナッテ、其情勢ハ一變シテ居リマスガ、鹽ニ關スル或ル程度ノ統制ヲスル必要ガアルト云フコトハ、全然吾々御同感ニ考ヘテ居リマス、ソレデ現ニ二、三年前拓務省ト致シマシテモ、内地ノ專賣局トカ、或ハ朝鮮、臺灣、關東州其他ノ關係官ガ會合致シマシテ、此鹽ノ統制ニ關シテ打合ヲ致シマシテ、或ル程度ノ申合ヲシ、法律コソ拵ヘテ居リマセヌガ、或ハ又法律以外ノ行政的手段ハ講ジテ居リマセヌガ、事實ニ於キマシテハテンノバラノニナラナイヤウニ、御互ニ十分連絡ヲ取ッテ、其間ニ統制ヲ立テ、過去ニ於ケル苦イ經驗ヲ嘗メナイヤウニ、出來ルダケ安イ鹽ヲ生産シテ、消費者ニ満足ヲ與ヘルヤウニシタイト云フ積リデ、現在既ニ其申合セニ基イテ實行致シテ居ルノデアリマス、現ニ朝鮮デ鹽田ノ擴張計畫ヲヤッテ居リマスノモ、其ノ一ノ現ハレデゴザイマスシ、又關東州ニ於テ現在増産ノ計畫ヲヤッテ居リマスノモ其ノ一ノ現ハレデアリマス、決シテ現在ニ於テモ無茶

苦茶ナ、統制ノナイ鹽ノ増産計畫ト云フモノハヤッテ居リマセヌ、其當時ノ申合セハ要スルニ朝鮮ト致シマシテハ、過去ニ於テモ亦現在ニ於テモ事業ノ狀態カラ見マシテモ、朝鮮ハ鹽ガ足りナイ、而モ關東州或ハ内地其他ノ地域カラ鹽ヲ移入スルヨリハ、朝鮮内ニ於テ鹽ヲ拵ヘタ方ガ却テ安ク付ク、ソレデドウシテモ朝鮮ハ大體ニ於テ自給自足ノ方ガ宜イト云フ申合セヲシマシテ、ソレニ基イテ現在ヤッテ居リマス、關東州ノ方ハ恐ラク話モ出タカト思ヒマスガ、日本全體ト致シマシテ鹽ノ生産費ガ一番安イノデアリマスカラ、出來ルダケ關東州ハ鹽ノ増産ヲ圖リタイ、併シ臺灣ノ方ハ鹽田ノ築造費カラ申シマシテモ、生産費カラ申シマシテモ、比較的高イノデアリマスカラ、ト云ッテ現在ノ鹽田ヲ潰スト云フコトハ申中容易デハアリマセヌ、或ル程度マデハ潰シマシタケレドモ、出來ルダケ今後ハ優良ナ品種ノ鹽ヲ拵ヘマシテ、主トシテ食用ニ之ヲ用ヒルコトニシテ、品質ノ改良其他ヲ圖ッテ、一方出來ルダケ生産費ヲ安クシテ行キタイト云フヤウナ方針ヲ立テ、現ニ實行致シテ居ル次第デアリマス

○葉梨委員 統制ガ立ッテ實行中デアルト云フコトデアレバ甚ダ結構デアリマス、尙ホ伺ッテ置キタイノデアリマスガ、專賣制度ノ施行ノナイ地方ニ於ケル所ノ製鹽業者、例ヘバ東拓デモヤッテ居ルヤウデアリマスシ、或ハ大日本鹽業トカ、サウ云フ各種ノ企業者ガアルヤウデアリマスガ、是等ニ對シテ企業的ノ統制ヲシタラバ、モット生産費ガ安ク行クノデハナイカ、只今ノ御説明ニ依リマス、臺灣ハ現狀維持、朝鮮ハ自給自足、關東州ダケデ工業鹽ノ不足ヲ補フ、斯ウ云フ拓務省ノ大體ノ方針デアルコトハ分リマスルガ、其方針ニ依ッテ進行セラレルノデアリマシタナラバ、尙ホ生産費ヲ安クスル爲ニハ企業的統制ヲシテ、尙ホ増産ヲ圖ル必要ガアルノデハナイカト思フ、之ニ對シテ何カ企業的ノ統制ヲ御考ニナッタコトガアリマセウカ、若クハドウモサウ云フ必要モアルト云フ風ニ御考ニナリマセウカ

○北島政府委員 御承知ノヤウニ現在關東州ニ於テ鹽ノ生産ヲヤッテ居リマス目星シイモノトシマシテハ、只今御話ノ大日本鹽業ト東拓トデアリマシテ、其外ニ個人鹽ガ相當アルノデアリマスガ、斯ウ云フモノヲ出來ルナラ企業ノ合同統一ヲ圖ッテ、サウシテ經費ヲ節約シテ、生産費ノ低下ヲ圖ルト云フ必要ガアルデハナイカト云フヤウナ御質問デアリマスルガ、其御趣旨ニ對シマシ

テハ、吾々全然反對スベキ理由ハナイト思ヒマス、唯企業ノ合同ト云フコトハ、理窟ハ兎モ角ト致シマシテ、實行ニ於テハ中々困難ナ事情モアリ、亦沿革モアリマスノデ、速急ニハ中々實現致シ兼ねルヤウナ性質ノモノデアリマシテ、今直チニ之ヲ合同スルト云フ計畫ハゴザイマセヌ、併シ將來ハ場合ニ依リマスレバ、サウ云フコトモ勿論考ヘテ、出來ルダケ生産費ノ低下ヲ圖ルヤウニ努力スベキモノダト考ヘテ居リマス、殊ニ先程來御話モ出タカト思ヒマスルガ、滿洲ノ鹽田ノ開發ト云フコトハ、ドウシテモ現在ノ事態トシマシテ、非常ニ重要ナコトデアリマスカラ、サウ云フモノガ出來マシタ場合ニ於テハ、又關東州ノ現在ノ鹽田ノ業者トノ間ニ十分連絡ヲ圖ッテ、御互ニ無用ノ競争ヲシナイヤウニ、無用ノ失費ヲ重ネテ、其間ニ生産費ヲ高クスルヤウナ結果ニナラナイヤウニ、或ル程度ノ統制ト申シマスカ、連絡ト申シマスカ、サウ云フコトハドウシテモ必要デハナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマシテ、サウ云フ點ニ付テモ現在十分考究致シテ居リマス、ソレカラ鹽ノ企業ノ合同以外ノ方法ニ依リマス生産費ノ低下ト致シマシテハ、昨年以來關東廳ニ鹽業試驗場ヲ設ケマシテ、出來ルダケ技術的ノ

生産費ノ低下ノ方法ヲ講ジタイト云フ積リデ、現ニ調査致シテ居ル次第デアリマス
○葉梨委員 先般來ノ委員會ニ於キマシテ伺ッテ居ル所カラ見マシテモ、朝鮮ニ於ケル所ノ鹽田築造費ノ平均ガ約一町步當リ千九百圓——二千圓前後ヲ要シテ居ルト思フ、之ニ對シマシテ最モ將來ノ開發ヲ要スル關東州方面ノ築造費ハ、私ノ調査シタ所ニ誤リガナケレバ、平均シマシテ八百圓即チ最低六百圓、最高千二百圓程度ノ築造費ヲ要シテ居リマス、サウ致シマスルト朝鮮デ鹽田ヲ築造シマスルヨリモ、寧ろ關東州方面デ鹽田築造ヲヤル方ガ、約半額ヲ以テ一町步ノ築造ガ出來ル、サウシマスト自然増産ニ於キマシテ有效ナコトニナルト思フ、勿論朝鮮方面ニ於キマシテモ、内地ノ需給狀況カラ見マシテ、其自給自足ヲ圖ラシムル程度ノ必要ハアラウトハ思ハレマスケレドモ、併ナガラヨリ有效ナ、ヨリ安價ニ出來ル鹽田ノ開拓地ガ關東州内ダケデモ一萬町步モアル、斯ウ云フ狀況ニナッテ居ルノデアリマスカラ、寧ろ此方面ニ力ヲ入レラレルコトガ拓務當局トシテハ必要ナコトデヤナイカ、斯様ニ考ヘル、然ルニ朝鮮方面ニ於テノ此鹽田築造費ノ豫算ノ提案ガアッテ、關東州内ニ於テハ殆ど個人企業若クハ法人ノ企

業ニ委シテ居ルト云フヤウナコトデ甚ダ心細イ感ガスルノデアリマス、是ハ將來ドウ云フ風ニサレルカ、又今日滿洲國內ニ於テ何等カ鹽業會社等ノ設立ニ關シテ計畫ガアルヤウニ聞イテ居リマスガ、是等ニ對シテモ、是ハ滿洲國ノコトデアリマスカラ、日本政府トシテハサウ積極的ニ乘リ出スコトハ出來ナイト云フ御答辯ガアルカモ知レマセヌガ、是等ニ對シテモ企業統制ノ必要ガアル、又合同販賣ノ必要カラ申シマシテモ、統制ヲ是非共此方面ニ行ハナクチャナラヌデヤナイカ、斯様ニ思ハレルノデアリマスカ、現在ドウ云フ狀況ニナッテ居リマセウカ、先程ノ殖産局長ノ御答辯ニ依リマスルト、現在ノ關東州内ニ於ケル東拓トカ大日本鹽業トカ、其他ノ個人營業ニ對シマシテハ、出來ルダケノ統制ハ必要ト考ヘテ居ルト云フダケデアリマスルガ、吾々カラ考ヘマレバ半額ヲ以テ鹽田ノ築造ノ出來ル地方、最モ有利ナ地方ノコトヲ民間ニ委シテシマッテ、サウシテ其倍額若クハソレ以上モ要ルト云フ朝鮮方面ノコトニ特ニ力ヲ入レラレルト云フコトノ意志ガハッキリセヌノデアリマス、勿論朝鮮ハ私ハ廢メマシタ方ガ宜シイト申スノデハナイガ、ソレヨリモ尙ホ安イ途ガアルト云フコトニ力ヲ致サレナイト云フコ

トハドウ云フ見地カラデアリマセウカ、其邊ノ關係ヲ十分ニ伺ッテ置キタイト思ヒマス
○北島政府委員 朝鮮デ鹽田ノ擴張ヲスルヨリハ關東州デ鹽田ノ擴張ヲ計ッタ方ガ鹽田ノ築造費カラ云ッテモ亦生産費カラ云ッテモ關東州ノ方ガ安イカラ、其方ヤッタ宜イデハナイカト云フ意味ノ御質問ノヤウニ承リマシタガ、御話ノ通りニ朝鮮及ビ關東州ノ地元ノ鹽ノ生産費ヲ比較シマスレバ大體ニ於テ其通りデアルト承知致シテ居リマスガ、關東州鹽ヲ例ヘバ朝鮮ニ持ッテ參リマスト云フト運賃、其他色々ノ雜費ガ掛リマスト云フ、ソレノ値段ト朝鮮内ニ於テ生産サレタ物ノ値段ト較ベマスルト云フト、ヤハリ關東州鹽ノ方ガ却テ割高ニナルト云フヤウナ現狀デアアルノデアリマス、隨ヒマシテ鹽ノヤウナ國民ノ生活必需品ハドウシテモ安イ物ヲ仕入レテ或ハ安イ物ヲ生産シテ、安ク消費者ニ渡スト云フコトガ最モ望マシイノデアリマスカラ、朝鮮自體ト致シマシテハドウシテモ關東州鹽ヲ購入シテ賣ルヨリハ、ソレヨリモ比較的安イ朝鮮ノ鹽ヲ賣リタ方ガ結局消費者ノ爲ニ都合ガ好イト云フ意味ヲ以チマシテ、朝鮮ニ於テ鹽田ノ擴張ヲ圖ッテ自給自足ヲ圖リタイト云フコトヲ現在ノ方針ニ致シテ居ルノデアリマス、一

例ヲ申上ゲテ見マス、朝鮮産ノ仁川渡ノ百斤當ノ鹽ノ價格ハ五十一錢四厘見當デアリマスガ、關東州産ノ鹽ヲ仁川ニ持ッテ參リマス、ソレガ七十四錢三厘ト云フ風ニ相當ニ開キガアルノデアリマス、ドウシテモ朝鮮ト云フ立場カラ見マスト關東州鹽ヲ輸入スルヨリハ朝鮮内ニ於テ生産シタ鹽ヲ販賣シタ方ガ消費者ノ爲ニハ都合ガ好イト云フヤウナ現狀デアリマス、サウ云フ次第デアリマスカラ、朝鮮トシマシテモヤハリ自給自足ノ限度マデハ少クトモ鹽田ノ築造ヲシタ方ガ朝鮮ノ爲ニ非常ニ都合ガ好イ、併シ朝鮮ノ鹽ノ内地トカ其外ニ持ッテ行ク場合ニハ勿論關東州鹽ニハ及バナイト思ヒマスルカラ、ソコマデハ考フベキモノデハナイト思ヒマスガ、自給自足ノ限度マデハドウシテモ増産ヲ圖ッタ方ガ全般ノ鹽ノ需給關係カラ申シマシテ適當デアルト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○葉梨委員

殖産局長ノ御答辯ハ主トシテ朝鮮其モノニ限定シタ見地カラノ御答ナノデアリマスガ、私ノ伺ッテ居リマスノハ、先程カラ申上ゲテ居リマシヤウニ、内地ノ需要量十六億斤ノ不足ヲ如何ニシテ、補給スルカ、之ニ對シテ最モ重大ナル役目ヲ果スモノハ外地デアル、斯ウ云フ見地カラ伺ッテ

居ルノデ、其外地ニ於ケル所ノ鹽ノ増産計畫、勿論朝鮮ノ自給自足ノ程度ニ達セシムル計畫ハ必要デアリマセウガ、ソレヨリモ内地ノ需給不足額ヲ補足スル意味カラ云ッテ、關東州方面ニ何ガ故ニモット積極的ニ政府ハ乗出サスノデアルカ、例ヘバ現在民業ニナッテ居リマス所ノ製鹽業者等ニ對シテ、之ヲ眞ニ國策ヲ樹テル意味カラ行キマスレバ、是等ニ對シマシテハ國家ノ力ヲ以テ何等カノ方策ヲ講ズル必要ガアルデハナイカ、而モ拓務省ノ豫算ヲ見マス、朝鮮ニ於テハ鹽田築造費ヲ計上シテ居ルガ、關東州方面ニ於テハ、單ニ輸出獎勵金ノ下付程度ノモノデアッテ、積極的方策ヲ講ジテ居ナイデハナイカ、是デ宜シイノカ、斯様ナ點ヲ主タル題目トシテ伺ッテ居ル、朝鮮ノ此豫算ヲ出シタノヲ寧ロ之ヲ引込メテ、關東州ノ方面ニ何カ方策ヲ講ジタラ宜イデハナイカト云フコトヲ言フノデハナクシテ、是モ結構デアラウ、併ナガラ是ヨリモット國家的見地カラ見テ急ヲ要スル所ノ方法ガアルデナイカ、而モ是ガ將來ノ鹽ノ國策ヲ確立スル上カラ云ッテモ緊切デハナイカ、斯様ナ見地カラ質問申上ゲテ居ルノデアリマス、先程ノ御答辯ハ全ク朝鮮ノ鹽田築造費ヲ庇ハレルト云フ意味カラノミノ御答辯ノヤウ

ニ聞エルノデアリマス、ソレデナクシテ本當ニ外地ニ對シテノ行政官トシテノアナタ達ノ御考、大所高所カラノ御見解ヲ伺ヒタイ次第ナノデアリマス

○北島政府委員

只今私ノ申シマシタノハ、必シモ朝鮮ノ辯護ヲスルト云フ意味デハナカッタデアリマス、要スルニ朝鮮トシテハ自給自足ノ必要ガアル、唯外部ニ供給スルト云フ見地カラト朝鮮ノ鹽田築造ハ不適當デハナイカ、ドウシテモ日本全體トシテノ鹽ノ需給ヲ調節スル爲ニ鹽ノ増産ノ必要ガアルトスレバ、生産費ノ最モ安イ又築造費カラ申シマシテモ最モ安イ關東州ノ鹽田ヲ開發スル必要ガアルト云フ御趣旨ニ對シマシテハ、吾々モ全然左様ニ考ヘテ居リマス、其點ニ於キマシテハ意見ノ相違ハ全然ナイト思ッテ居リマス、然ラバ關東州ニ於テ鹽田ノ築造其他ニ對シテ、政府トシテモト積極的ニ獎勵ノ施設ヲ講ジタラ宜イデハナイカト云フヤウナ御趣旨カト思ヒマスガ、是ハ葉梨サン能ク御承知ノ通り、關東州デハ鹽田ノ築造ニ對シマシテハ、從來東拓或ハ大日本鹽業、サウ云フ民間ノ企業者ニ對シテ土地ノ貸下其他ニ依ッテ非常ナ便宜ヲ與ヘ、サウシテ所謂鹽ニ對スル税金ノヤウナモノモ之ヲ輸出スル場合ニ於テハ拂

戻シテ、事實ニ於テ全然負擔ヲ課ケナイヤウナ風ニ致シテ居ルノデアリマス、一體斯ウ云フモノヲ朝鮮見タイニ總テ官營デヤッタ方ガ宜イカ或ハ民營デヤッタ方ガ宜イカト云フ根本ノ問題ニナリマス、是ハ餘程問題デアリマシテ、官營デヤルカラ事業ガ總テ積極的ニ非常ニ増産ヲサレルカドウカ、民營デヤルカウマク行カナイモノデアルカドウカト云フコトニ付テハ、吾々寧ロ非常ナ疑問ヲ有ッテ居ル次第デアリマス、政府ノ事業デアリマスルト云フト、ドウシテモ所謂財政ノ都合ニ依リマシテ非常ニソレヲ制限サレマスシ、殊ニ現在ノヤウナ赤字公債ノ時代ニ於キマシテハ、假令生産事業ト申シマシテモ、ヤハリ公債ノ増發ニナリマスカラ、財政的ノ見地カラ云ヒマシテモ、中々必要ナ資金ヲ得ルト云フコトガ非常ニ困難デアル、之ニ反シマシテ現在ノヤウナ所謂低金利ノ時代ニ於テ、而モ關東州ノヤウナ鹽ノ生産ニ最モ適シタ地域ニ於テ、民間ノ業者ガ現在ノ低利ノ金ヲ用ヒテ鹽田ノ築造其他ヲヤルト云フコトハ、少クトモ現在ノ時勢ニ於キマシテハ、政府事業ノ直營トスルヨリハ民營ニシタ方ガ、却テ比較的巧ク行キハシナイカト云フ風ニ考ヘラレルヤウナ時勢デハナイカト、私ハ考ヘテ居ルノ

デアリマス、ソレデ然ラバ民間ニ矢張從來通りヤラシテ居ル場合ニ、之ニ對シテ出來ルダケノ便宜ヲ圖ツタ方宜イデハナイカ、從來ノ分デハ尙ホ不十分ダト云フヤウナ意味デアリマシタナラバ、其點ハ吾々モ或ハサウカト思ヒマスガ、官營必シモ民營ヨリハ都合ガ好イモノトハ私考ヘテ居リマセヌ

○葉梨委員 私ノ質問ヲ致シテ居リマス所ノ根本ノ方針ハ、我國ノ鹽ノ需給狀況ニ付テ政府ガ積極的ニ方策ヲ樹テ、且ツ民間事業ノ統制ヲ圖ル必要ガアルデアラウ、斯様な見地カラ出デ居ルノデアリマス、即チ鹽業立國ノ趣旨カラシテ、此質問ハ出發シテ居ルノデアリマス、只今ノ御答辯ニ依リマスルト、民營ニスルカ官營ニスルカト云フコトハ餘程議論ガアル、ドツチガ宜イカト云フコトハ、是ハ餘程利害得失ヲ考ヘナケレバナラス、殊ニ低金利ノ時代ニ於テハサウダト云フ御答辯デアリマスレドモ、私ハ目前ノコトヲ申シテ居ルノデハアリマセヌ、遠イ先々迄モ我國ノ十六億斤ノ鹽、或ハソレ以上ノ人口ノ増殖ト共ニ不足ヲ來スデアラウ所ノ鹽ニ對シテ、重大ナル覺悟ヲ以テ當ラナクチャナラス、而モ其使命ヲ遂行スル所ノ最も重要ナル役目ヲ務メルモノハ拓務當局——即チ外地ヲ統制サレル所ノ拓

務當局ノ方達デアアル、斯ウ云フ見地カラ申上ゲテ居ルノデアリマシテ、民間ノ會社ノミニ委シテ置キマスレバ、儲ラナイ時ニハ、例ヘバ三四年前ノヤウニ品ガ價格ノ相違カラシテ澤山賣レナイト云フヤウナ際ニハ、皆業務ヲ休ンデシマフト云フヤウナ狀況ニナルノダカラシテ、寧ロ是ニハ國家的統制ヲ加ヘル必要ガアルノデハナイカ、進ンデハソレ等ノ民間會社ヲ國家ガ全部買收シテシマフナリ、或ハ株ノ大半ヲ國家ガ所有スルナリ、若クハ全ク官營事業ニシテシマフナリシテ、相場等ノ變動ニ依ッテ、鹽ノ生産額ニ變化ノナイヤウニサレルト云フコトガ、最も緊急ナコトデヤナイカ、斯ウ云フ吾々ハ考ヲ持ッテ居ルノデアリマス、ソレデアリマスカラシテ、特ニ私ハ此問題ニ付テ質問ヲ致シタ次第デアアル、其邊ニ付テハ、大體ニ於テ吾々ノ趣旨ト同様ナル御答辯ヲ伺ッタノデアリマスレドモ、尙ホモウ一步進ンデ、只今申上ゲマシタヤウナ吾々ノ趣旨ニ副ハレンコトヲ私共ハ希望シテ居ル次第デアリマス

○堤政府委員 葉梨委員ノ御趣旨ハ能ク分リマシタ、民間ノ當業者ノミニ委シテ置クト十分ニ國家的ノ必要ヲ充タスコトガ出來ナイヤウナコトニナリハシナイカ、國家ガ

之ニ對シテ適當ナ施設ヲシテ行カナケレバナラスト云フ其根本ノ御趣旨ハ能ク分リマシタ、最近當業者モ寄リノ寄ッテ協議ヲシテ居ルヤウデアリマスカラ、政府ト致シマシテハソレニ對シテ御趣旨ヲ能ク諒承致シマシテ、適當ナル方法ニ依ッテ此國家的ノ事業ニ應ズルヤウニ相當考慮シテ見タイト存ジマス

○葉梨委員 私ハ之ニ對スル質問ヲ終リマスニ當リマシテ、尙ホ一寸拓務當局ニ御伺シテ置キタイノデアリマス、最近滿洲國內ニ日系ノ資本ニ依ル所ノ鹽業會社設立ノ計畫ガアルヤニ伺ッテ居ルノデアリマス、是ハ日本ノ法人トシテ設立スルモノデアアルカ、或ハ滿洲國法人トシテ設立スルモノデアアルカ、何レヲ以テ利益ト爲スヤ、之ニ對シマシテハ拓務當局デモ御研究ガ積ンデ居ラレルコト、思ヒマスガ、ドウ云フ方針デ居ラレルカ、其點ハ將來滿洲國ヘノ投資ニ付テ色々ナ意味カラ最も緊切ナ關係ヲ持ツ問題デアリマスカラ、豫メ伺ッテ置キマス

○堤政府委員 新ニ出來マス事業會社ノ國籍ヲドウスルカト云フコトハ、是ハ餘程重大問題デアリマス、資本ヲ安心シテ集メ得ルト云フ點カラ觀察シマス、是ハ日本ノ法人ノ方ガ宜シイノデアリマス、併シ滿洲デ營ミマスル仕事デアリマスカラ、滿洲ノ方面ノ諒解ヲ得ルト云フ點ニ於テハ滿洲國ノ法人ニシタ方ガ都合ガ好イコトモアリマス、ソレハ餘程重要問題デアリマシテ、拓務當局デモ個々ノ事業ニ付テ十分研究シテ居リマス、ソレノ關係ノ方面トモ協議致シテ居リマスカラ、此點ニ付テハ萬遺憾ナクヤリタイト思ッテ居リマス、只今ノ所デハ今ドチラノ法人ニスルカト云フコトハ決定致シテ居リマセヌ

○葉梨委員 尙ホモウ一件、是ハ專賣局ノ田中課長ノ御答ヲ願ヘバ宜シイノデアリマスガ、專賣局側ト滿洲國側ガ協定シテ居リマス鹽ノ輸入ニ關スルコトデアリマス、是ハ滿洲國全般ノ生産高ヲ基調トシテノ御協定デアアルカ、或ハ現在ノ滿洲國ニ於ケル所ノ製鹽業者ノミデアッテ、將來設立サレシタル法人等ノ生産額ヲ除外シテノ協定デアリマスカ

○田中專賣局技師 一寸御答致シマスガ、只今ノ御質問ノ今ノ一億乃至二億ト云フ協定ガ出來テ居リマス數量ハ、現在ノ狀況ニ依ッテノミ決メタ數字デアリマシテ、現在ノ鹽田ガ改修サレ、サウシテ其生産ガ増加シタ場合、若クハ新規ニ鹽田ヲ築造シテ生産ガ多クナッタ場合ノ如キハ、自ラ其數量ガ

變ッテ行クノデアリマス

○葉梨委員 時間モ經ツヤウデアリマスカ
ラシテ、大體是デ私ノ趣旨ハ達成致シマシ
タカラ、質問ヲ打切ルコトニ致シタイト思
ヒマス

○山下委員長 是デ大體質問ハ終ッタコト
ニシテ如何デアリマスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○山下委員長 ソレデハ是デ質問ハ終ッタ
コトニ致シマス、本日ハ黨ノ方ノ相談モア
リマスカラ、是デ散會致シマシテ、明日又
開會致スコトニ致シマス

午後零時四十一分散會